

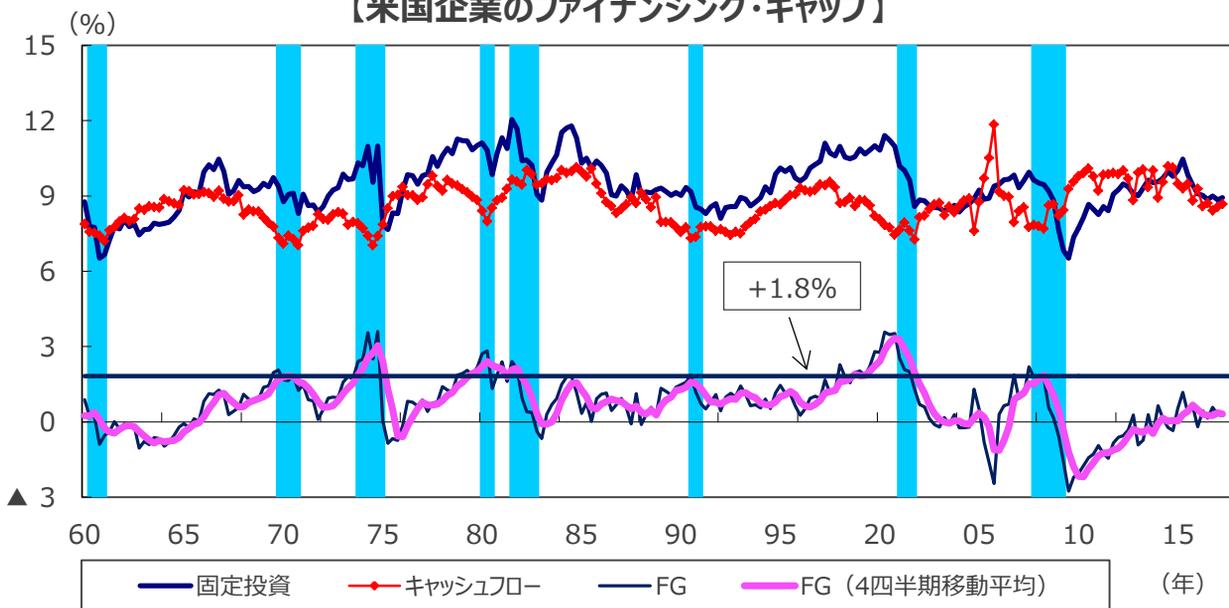


Q 米国の景気拡大はいつまで続くの？ (3)

A 設備投資に対して企業が積極的か、消極的かを測る指標であるファイナンス・ギャップは、米国が近く景気後退に陥る可能性の低いことを示唆しています。

- 企業が自由に使うことのできる資金をキャッシュフローといいます。税引後利益と減価償却費を合計し、そこから配当金や役員賞与を差し引いたものです。
- 企業が過度に強気になり、過剰投資を行うようになると、景気後退に陥る可能性が高まります。ファイナンス・ギャップの動向を見ると、概ね対GDP比+1.8%を超えると景気後退に陥っています。
- ファイナンス・ギャップとは、設備投資に在庫投資を加えた固定投資から、このキャッシュフローを差し引いたものです。これがプラスということは、投資がキャッシュフローを上回ってきたこと、つまり企業の経営姿勢が積極的になってきたことを意味します。
- 直近におけるファイナンス・ギャップは、2017年4-6月期時点で+0.25%であり、+1.8%を大きく下回っています。米国企業の設備投資余力は大きく、近く景気後退に陥る可能性は低いといえるでしょう。

【米国企業のファイナンス・ギャップ】



(注1) データは1960年1-3月期～2017年4-6月期。網掛は景気後退期。

(注2) 米国企業は、農業と金融を除く企業。固定投資＝設備投資＋在庫投資。キャッシュフロー＝税引後利益＋減価償却費－配当。ファイナンス・ギャップ (FG) ＝固定投資－キャッシュフロー。すべて対GDP比率。

(出所) 米連邦準備制度理事会 (FRB)、米商務省の統計を基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。